

へ穿くように上げる。

住居 「住む」(居る)——家。

すまないことをした 「御免御免」と同じ
手まね。

済む 「終り」と同じ手まね。

済ます 左手掌の上に、右手の人差指の指
頭で字×を描く。

速やか 「少し」の手まねの手の姿態のま
まで(掌を上向け小指薬指中指の三指を折り
曲げ、指頭を上にした人差指の先僅か下に
親指の指頭をつけ)手首を軸にして掌を上
下に早やく動かせる。

住む 「居る」と同じ手まね。

相撲 握り拳にした両手で、左右夫々の膝
を交互にたたく。

炭 「黒い」の手まねをして、人差指と親
指で輪にした両手を左右に間隔をおいて並ら
べてから左右に離して行き横に棒状形を描

く。

掃るい 「狡猾」と同じ手まね。

刷る 「印刷」と同じ手まね。

坐る 右手の人差指と中指で人間の二本の
脚としてその二指を左手掌の上で坐るように
曲げて置く。

セ

税 収入——部(左掌の上斜めに右人差指
の指頭で線を描く)——役所——金を出す。

誠意(誠実) 正直——心——さし出す(両手に
て前に捧げる身振り)。

正確 間違いない——はつきり。

性格 心——癖。

生活 生きる——毎日。

精勤 一生懸命——働く(仕事)。

生計 毎日——食べる——金銭。○絵を描いて

生計をたてる。絵—売る—金銭—毎日—食べる。

成功 「腕前」の手まねをして、鼻頭の上に拳を持って行って、「鼻高」即ち「天狗」
「よし」を表わすがこの場合左右両手の拳で更に鼻高にするがよい。



政治（政府）五指の指頭を右にさした左手掌を下に向け、胸の右脇辺りにびったりつけて、その手甲の上に右腕の肘を載せ、その右手五指の指頭を上

にさし掌を左側に向ける。「掌どる」と云う意味。

性質 「性格」と同じ手まね。
聖書 キリスト（十字）——書物。

製造 「造る」と同じ手まね。
生存 生きる——在る。

精神 「心」と同じ手まね。

贅沢 「寛大」の要領で腹を広く見せて、金銭を表わした手を何度か繰り返して前へさし出す。ふんだんに金を使うこと。

成長 右手の掌を右肩に置いてから、上へまっすぐにあげて行く。脊丈が伸びて行く様。

晴天 「明るい」「昼」の手まねの要領で、両手の掌を頭の上辺りで、上向けにしてさっと左右に離す。

生徒 習う—人々

政党 政治—連盟

稅務署 人々—収入—一部（左手の掌の上に斜めに右手人差指の指頭で線を描く）—集める（金銭を表わした両手を斜め前左右から胸もとに引き寄せる）—役所

整理（整頓）五指の指頭を前方にさし掌を